遊ばされた、途中各郷や航道に将一軍に召され、同十時十五分清州に しあげ、殿下には長くも車中から |新協定に調印を了した、右につきクーパー海相は三十日午後の英下院において左の如く競変した||伏衷カンボン駐英大使館恣事官は三十日午前イギリス外務省において、主力艦噸數の最大限を四萬五千噸とす。代表カンボン駐英大使館恣事官は三十日午前イギリス 三萬五干噸を撤廢し新たに四萬五干噸に制限方式を確立する餘約議定書に調印を了した、備砲口徑については英米佛三國政府はロンドン餘約のエスカレーター條項の援用に伴ひ協議の結果、本三十日現行主力縣噸數制限 現行十六吋の制限を依然遵守することとなった 四萬五千噸案

英獨間にも調印 ックセン氏との間にも同様の

【ロンドン三十日河盟】英米佛三

殿下には、七月一日午前八時官民(列の來迎の人々に御存様を眺ばり)御安帝遊ばされた、浩州橋から道。一々御育練を賜はり、金類事の御

河九時神分島敦院開御安治、天安|臨まで約四町の沿並には一萬を超|先導で道羅知事家に入らせられた

大安郡に向はせられ、同惟六分矢一塁まで御田即申上げた金忠北知事一える男生、邑民、田征軍人遣家族が一

の御見送を受けさせられ自動車で

最に御二治遊ばされた東久邇宮妃

外務省において主力総職務所無駄「復海収認定に基さ起美トイツ大使」ドン條約締約國政府は、四無五千國政府代表は三十日正午イギリス にカドガンイギリス外務次官は英、調印を了した。新協定によりロン

ドン條約締約南政府は、四英五干

ヨーロッペ海車側が三萬五子順以フラン政府はイギリスを除く他の になった際だが、イギリス政府と しては四萬س以上の主力艦は建造 ○ 方原西に土保りましてあたものでをそれか、深に昇格したものでをそれか、深に昇格したものでをそれか、深に昇格したものであれるの。 新しい 陣容の下に 一日からず村期談氏が初代歴女に技権され 氏殿村扱頼訳長には産業主事大

時下軍事援護等の銃後陣羅化のた

設に伴ふ異動京畿道兩課新

京献返では總督府の方針に基言戦

レーギー総目大便を通じてたず、機様だが、通常する場合は多分 馬政計器を以てしては軍の要求を

満洲國々境警察隊に收容

【東京電話】ソ聯内務人民委員部ゲ・ペ・ウ極東長官リユショフ・トルを選出して開し一日陸軍省より左の如く發表した「東京電話』ソ聯内務人民委員部ゲ・ペ・ウ極東長官リユショフ・

、將國境を設

際に関連を新設、道政副領によつ。

馬政計畫を更新

一・南馬の方針は低身、廣縣、四度計畫を更新する必要を認め 第たし得山のでこの際根本的に場 に持久力に富む頼形馬を生産す駐鹽機にして負擔力、競曳力並 花を風で第一戦とす外正項

出三十日の馬政調査管に沿隣した



人膳体項相手のバー等に願いてお彼等に何れもセイテーで外人、軍 シア人ダンサーが交ってむるが、 ○中津川源古氏 (計滿先殖班務理

日後西省電腦に無味直接部で議を一次の緩降列車を持つてゐるが、それずて平岡共産黨は去る五月十二一年間は僕氏政府幕局に引止められ 側への衝撃によれば、抗日戦に暗しから引揚げ命令を受けたドイツ

日集して神規軍司合官フリュッへ

の衆族遠に本月の利用で到着、又たが、彼等の最によると言た多數

将軍屋下のサコクスキー経験調

派遣電車司令での他蘇聯邦搭校 のに乗じ一暴に支那床化を企園関氏政府が崩壊に顕しついま

|行葡物が交のてゐたのは人目を数||あると云はれる

蒙古主席に徳王

副主席に李守信氏

ホテルに臨時總濟を開音。

ドイン大便トラウトマン氏の引揚しのロシア人やマッサ

國民運動の統制强化

内地に範を示す意氣込で邁進

臨時緊急會議一再總督から訓示

容護には層民政府の軍人は一人

の参列の下に一日午前十時から厚護、築産・晋州等の各政治代表等 古大寮は蒙古各旗王侯日本、溝洲路及び副主郷を決定する弟三次婆

勝組職大郷第一様により主席に取れ、満福一致をもつご自治政府主和市公舎堂において経大に銀行さ

米単を中央軍の中に入り込ませ、橋民政府が尚存職する場合は

【原和一日同盟】倭王の逝去によ

つて新たに製石聯盟自治政府の主

一義推測決定した。

共産黨による支那統治全質

角席しなかった街である

國際列車

九龍驛に到着

敗殘兵を撃退

て内蒙古内に脫走し來れり(寫眞はリユシコフ大將)チ叉蕭正工作の犧牲となるを恐れ本年五月二十九日)

九日外蒙古サインシャンがより自ら自動車を操縦しつつ島得を經附師團砲兵部長砲兵少佐フロント・ヤルマル・フランツウィッ

又目下外蒙古に駐屯中のソ軍第三十六自動車化狙撃師関司令部

に收容せられたり

國の保護を求むる目的をもつて去る六月十三日午前五時三十

たる極東地方內務人民委員部長官三等國家保安委員(三等大

セ・サモイロウイツチは、

ン聯邦内における背烈なる庸正工作のため身邊の危険を感じ

分頃琿春東方禰ツ國境を身をもつて脱出し禰洲國々境警察隊

國府崩壊に乘じ

共産黨の暗躍

將相當)リユシコフ・ゲンリツ

天地立黄

野非常時の鬼機へ職者が第一 職の空襲に到って組織へより

前上る ドイツの態度いよい 軍事瞬間を引上る。駐友大使

ものが出来たのではないかない 本多のやうな人間の思考の動き

「よし一番、屋がてやれ」 +ことにもつて御苦労十萬なこ 音頭が近い。島辺女のお後の家

て國民精神問題兵運動の具體化、

版に入ったので一日子第丁一社会

促したが、形々出望にない段

したのでこれに就き各位の間息日には競貨式のあることを承知 朝鮮聯盟の創立護者があり、七はしたるは本日後民籍神秘委員 本日 臨時に会前をわず

即長び戦衆四銭を添へて七月二十

真日の影響を発れて避難する外人

正年まで京城南山小學校講堂で開

內初等教育政党等共同主催の一身京與財政育發、北京西部師範學校 照講習者」は七月廿二日からニナ

て〈養藤薫雑氏〉▲廿三日に即したる演芸目の取扱に

教育會夏期講習

日までに京城沿港が戦内京城上が 日までに京城沿港が戦内京城上が 青年和田公子北たい、なは都督神、劉東第三国の旅域を繋げ三十月中茂・龍安の平原に依任衛音二十を責 青年和田公子北たい、なは都督神、劉東第三国の旅域を繋げ三十月中茂・龍安の平原に依任衛音二十を責 青年和田公子北たい、なは都督神、劉東第三国の旅域を繋げ三十月中茂・龍安の平原に依任衛生とと選連、 青年和田公子北たい、なは都督神、劉東第三国の旅域を繋げ三十月中茂・龍安の平原に依任衛生と認連、 青年和田公子北たい、なは都督神、劉東第三国の旅域を繋げ三十月中茂・龍安の平原に依任衛生とと選連、 古田山となる演奏目の東坡に対して、 に即立したる演奏目の東坡に対して、 に即立したる演奏目の東坡に対して、 に対して、 にが、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して に対して に対

複一般の尖つたからたを指背気に

◆足立旗解林葉育所理事 東京へ 今夕から京城東炭泉。防空監 に進んで行くのに気づくと、日先

残へこんだめである。 跳ね出すそうにはげしく躍りだして、心臓は脱骨の中からる、傷も呼吸がほづんで、流だら

川尻氏歸城 阿新新

大村商廠(豊)

雅吉(地)

一葉型医への揺車をかけることとな

関連の対応に伴って左の通り人 を申ず「指集内に資産の選別 を申ず「指集内に資産の選別 内部部連合規則移立命中 職 出 出 出 出

ぶらくと、至って関数無朝な足

傾重確定中であるが、現行第二次の関軍では将来の馬政方針に隣し 【東京位話】安那市姫の総職に舞

郷定の調取並にその内容につぎ子は来たえに對する刑容はない。初









野獣の群(正)

カ代表ジョンソン駐英大使館参事官、並にフラン

海音寺湖五郎 永謙

りに母る所まで一緒に来たが、そ こで、おりんは辻持してある法語 おりんと本多とは、坂本町の道 太郎輪

變なことになって來

やがて、金杉町の方に向って歩き どちらに行かうかと述ふやうに、しいや、何者でもかまはんが、満川 急に突り放されたやうな気持で 松田川がありさらにも見えたい と言って、想頭に乗って行って をったその一位、あいつて何者だら

いて行つたが、ふと、前方の機町」もしないが、思ろしく建足である。

會式株造釀屋咖

國民精神總動員聯盟

けふ朝鮮、京城兩聯盟創立總會

野貝羽鮮雅以一の副立徳會に移一赤就奉公の熟度を打つて一丸を子

潑剌たる新鋭揃ひ』

腦病・神經痛や

京城府明沿町一丁目(安徽所27)

秋岡商會 **西部本属門法20**

銅線を盗む 避雷針先端の

機識問題り一個大門署の研経會

坂井耳鼻咽喉科醫院獸

京城本町一丁目入口 雷爾山 板

井

満

動態機化で弱こり耳鳴り で不遜古もつれに儲む人

い研究

九 元 本

四マリ十三本語の西郷料本米

明大野球一行釜山上陸談

は一日朝六時釜山入郡の興安丸で半島来郷の明大野衆国一行廿一名 袋山に上陸花屋ホテルに入り、午

慕聖公會へ鐵槌

つひに解散命令

名の省員の手を通じ一度の表彰」 ある、会を收めれば学子演奏し て表彰する」と親し全鮮于四百

養養に取付け中の遊習針の先端

から最大の努力をつくしたい

那个高飛びしたらしい形跡に本町

最野町一ノ九県総基『こは六月 哲芸谷川町京城ダクシー巡禅師

様を誤脈脈卵に取らる。 様の深血酸は、鷺生法其 ぎ申込まれよ!

法を推奨する次類である を関各方面の治験者から が関係を見、確信を

Columbia

F

コロムビア製品をノ 蓄管器針も、

深器店

ポケツト カバン…

は ものの は 忘れ は で れ は で れ は で れ は で れ で す で す が れ で す が れ で す が れ で す が れ で す が れ で す が れ で す が れ

lŧ

やリウマナで手出版者が職んで関れる人は 大阪市取酔線三関線域 方はつらい起版を結二関線域

朝鮮みやげの御用は

経過

海市商

會

Ħ

び運轉助手 務帶の高飛

人共捕る

も通知の世界が無「見されたのだ」と最切り自動車が「は何れも通常によって四リ

けば、早くもてこには遺保安礫か

を調べてハンドルを聞る乙女の紅

裁修うるため京畿近洋安課では

【既報】朝鮮名物妓生の取締の

今度は挽子 から渋情

慰問口品を励べあるが、戦地

い上は、器科自

流線型! 入れよい どこにも

第二三〇號

+

匠意・量音・質音るす證保がク

天氣豫報(211)

學病器院



./能性·

五

六號

¥ 28



つたり (明日) 同じ 京城地方 (JRM) 暗れたに 色素斑しみ思なまっ

第二〇三號

(茶配件)

¥ 33.

既受情報という。 一次では、 にでいる。 では、 にでいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい

門研究所

L

は累 を各種御座います。 電気蓄音器は二百十五圓迄、 電気蓄音器は二百十五圓迄、 でで、箱型手緒式は百圓迄 でで、箱型手機式は百圓迄 ¥ 45. 测透程变光 铁尖齿趾 日本常質器問售 にて御試験下さい。最寄コロムビア特約店 No. 203 No. 204 J_{d} ,

りふ愈よ基礎訓練

演習第二日

燈火管制設備の整備と廿九、卅の兩日庭防護組合の結成、家庭その他各方面 **一年度防空訓練の第三日は、いよ~~** つて遺憾なき防空態勢を整へた京畿 警報址各細胞を經て個人

空襲に備へて一火漏る「無き銃後の鐵壁

間々の燈火管制に入り、 級道は京城府以下指定 府邑面をあ 陣に、敵機迫るの警報一下、

及ぶ警報の傳達、

の設備

一は設備の質施であります。

全難に城大は今日から

三一日本町県を運じて二宮間を

漂着と判明

慶の北北の宝米

北南西の風

疉

洛山漂着の蘇聯漁

一時和山和津に恵渡したソ聯の動「四ペた所、呵帖」(清津電話)既報、二十九日午前(古徳建舎外事主年

斯主念國完氏("

畏し皇后陛下

戦死者遺族へ

最低した動後の機を六曜に 際し数据学生を一丸にして 分け、歴題高泉の高山植物

国建設、牛耳間の砂断工事

月一十九日連名を以て朝鮮内は勿

前状約三千部を選送し其

七月一日朝の概況、駐風は導く于島の里

する初度他の建設に連載す

海水治等の行機的行事を含 八塔から中間下の研究率仕

曷弘基氏ら十八名揃つ

轉向聲明書を發表

あらせられたので一日午崩子および御歌色紙を卸下脚 丁一時年近知将軍では 街し特別の思名を以て御覧 内の今次非観戦死者遺族に

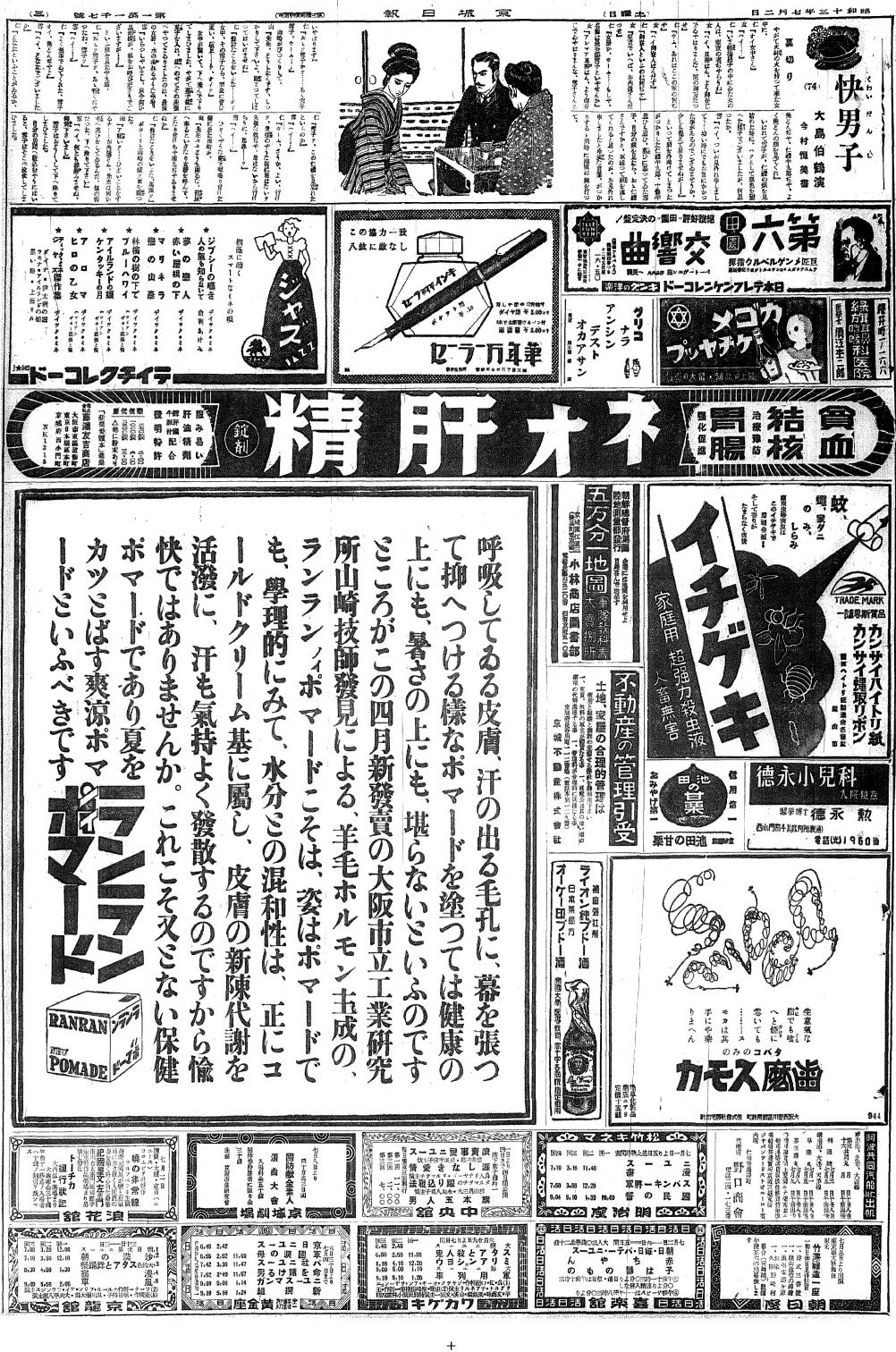
長くも皇后陛下には京都道

こるものとして一般の注目を数い

番目生後五時生ごろ京様等子町五

皮膚等整形料

たり



本府、具體案を考究

地場銀未曾有の現象

朝鮮取引所

大学学校的が脚なく数 に発付いたのみで中間は いましかります。 いまに対していたのみで中間は いましかります。 いまに対していたのみで中間は いましかりがなく後つて新 いき。様に負針引立たす。 いま様子りくし安の一段 いま様子りくしなの一段 いましかりが、

關東 0 大洪水 明シール部に替じて前 ・ 別から、 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。

↑ 京城府明治町 代资水高五1九1番

***社會港特派員 押兼利博氏**

事も止むを得ないが一朝何にもの 実現に租金かとそれ実付は高くな な可能性が大きいので向質がに勢 味があると見て原名向が多い大反 と研究が起つてもそれを受けて物数 を実践が起つてもそれを受かに買 金行異が起つてもそれを受かに買 金行異が起つでもそれを受かに買 を対してのが多は明春用をないので 例呼の如う効果は明春用をないので 例呼の如う効果は明春用をないので 例呼の如う効果は明春用をないので ので、研報に値付き电分なく作情 反別落を帯大し具作機想されてゐ る荷であるが会計は同感化するの な荷であるが会計は同感化するの な荷であるが会計は同感化するの が替れたよる、中華

| 李平亨 | ラスラップ 報

日補内國間を一貫する

無京龍話』映画は事態のが三段。籤に透達してあるぎ、この物養趣。府に議歴的政府監修官の

我政府本格的に乗出す

和中の近裔首相有馬鹿相を除く各 時四十分首和官邸に開食病気引

氏から黄維指草、南島、赤色万面

の異衣に結の羽織にはかきなさ

題で商業八千四百、工業五百ち府内の中小衛工業組合は百十組 因る中小商人
現在京城

石原磯次郎翁

片岡郷工場長

員計画の十分旦一個滑たる差行に 高いては是非とも我が經過プログ

の日南朝間を一貫する物政活給計

告い報に末大内相より

り、更に妃殿下には饕餮郎長室に

東久邇宮妃殿下忠北道廳御成り

前にて謹寫

統御魔はしく七月一日午前十時 五分生北近畿に御成りの東久通 児殿下には金知事の御業内で知 石直氏以下す三名に列立採品を開 迷ばられ金知事に對し有難き御官とは起降下には終始御熱心に御題取

巫玺に参入・軍獲報協の光楽に治一三郎氏、流州邑本町五丁目金現根一【大田にて大連特派真蔵】原久邇(宮妃賦下には一日午後三時四分) **自教にこさを自卑れい事習は「台知事第で海休憩の勇彦、午後」「政が切らてりを転ぐら後の駅況を共言に御財明由上ぐれ「立理論の光架に治した、好徳下に、道鑑問政以来且成方のした。終つて金知郡より道内の終「氏の二名は統後の功労者として列」大田に同はせられた、 平に召され島教院に向け御田袋、「海い総名を受けた時十五分色民の家会理に再び自動「海い総名を受けた時十五分色民の家会理に再び自動「海い総名を受けた 大田御視察の御後 道臨開設以来泉波方の御来臨は今

狀况を御聽取遊ばさる一

軍忠北知事より道内の

田県海常・ホームに松列せる田佐に横城いと海路山く神召列車にて大

要衝更解散の機能を急襲し、折響の西北に位置する鬼子湖北段の

は鳴館に入らせらる

日本人小學校

<宇刹をとりもとし、大修理工事性衝撃を中心に出現の「十五米に耳る」大戦権の開連式を「続き途をに連絡なった型」日の北ト元を挟ったと見るさますを参考者である。『号音』「上午道とましましま」と「返し連続を修り、ここ

ため破壊された徘徊報復育戦権の「と窓成、11日年期後長1千二百二」協議との報じました。 「日の盟1艦院左支那集の「工事第食により係か江ヶ月をもつ」提行・哺れの試過飼育により係か江ヶ月をもつ」提行・哺れの試過飼育

律補全線完全に連絡

の概況を督上由上げた・ついで列

は同攻撃により我が軍の南西せ

きのよ睛の試運轉

思南、孫全北、新具全南各知事

瞬はり、小原大田極道平衡所長

科三年をで内地人朝鮮人計冊之名 初めての日本人小學校が開設され た。今のところ連督一年から川節

海の荒

南支一帶猛爆

の一致をみたので整響最終の形式

の他必要が 第二回協議會で意見

對防共諸邦

親善使節團

七七二番を御利用被下度尚御支拂の際は「振替御用の節は電話本局2)一五八番・一五九番・二

京城八一五番・五九五番」に御拂込願上候

現行

法

令

輯

覽

満洲國政府より派遣

- 世帯関節を接進すべく計画を を明に重大郷されてある。 ・・ドイツを始め続共都邦に の一味と見られ、非劉一の

羅中學校長

狙撃さる

朝

鮮

洪

規

類

纂

社會式株

鮮

法

命

衈

覽

時頃フランス租界にある贋泉中學界件が整護した、二十九日午後五 人非に又質局の目をくぐつてテ はれるテロ事件に贈ざされてゐる

班朝鮮上木法規集

朝

群

事

例

規

事

进

規





朝鮮神社法令輯覽

朝鮮土地改良例規

朝鮮商工關係例規

朝鮮水產例規集

朝鮮地方行政例規

T 原

平安北道例規集 道例 規

咸鏡北道例規集 咸鏡南道例規集 集

會學 翅戲 方

忠清南道例規集

通乎太城京

朝鮮地方制度與實

各道警察例規聚

衞

谷

大

四海北道例規集

長社役締取

全羅北道例規集

慶尚南道例規集 慶尙北道例規集

Ķ

國民服の制定に

きのふ久し振りの一面會日

てめるが真状あたりまで来ると 出演も整備方面の役人は全部所

確な述べ年後五時二十分問

滿洲國法令與覽

誌刊

朝

鮮

T

政

相。板坑陸相、采內面形は、一 議院官後首相官職に居残り小法 石宮属以外に振りの練覧面合品 原道話] 字場外科、池田城 會議

印刷物は總で行政學會印刷所(電話本局(2)二八

番·三五三三番)〈御用命被下度願上候

京城府南米倉町百五十九番地

展問題につき顧見の安操を定 学と「四角食職を開き、信奉」 大野總監の

导屬工場

歸任遲延

政學會印刷所

特派員致」層足忠治の地をそ 【〇〇基地十九日中川

地上部隊勇躍突擊

中山部隊の奮戦を接護した

名爆擊手長岡編隊長

國民精神總動員

朝鮮聯盟結成

席推し、武城撃と祟り、将介ろ城たく、既に滅主の牛にを聖戒一年、泉軍の語ふとこ らず。真軍の産組織々胜んに oがある。 銃後の國民亦

に関へざるところである。 して、皇國臣民の難しく監監 がおし、むるところに

候後の赤辺を探げつよめるこ のがある。数り國際期の話権 そを喚起し、皇國臣民として 旅で寸分の油轍を記さよるも子三百為民業亦よく劉民的日 ものありと雖も、その過程に 特動員運動を起し、勢敏なる参に鑑み國民と共に國民精神

低空五十米の掃射で

念日を以て盛大なる競技式を 部帯型を結成し、社會各方面がために、層民物の陽動量部

変配を具合金具に任命された。 対応異質

鮮滿鐵 道貨物

一日から斷行

の通り大器名類関並に國民庁高

大藏顧問被仰付

主力艦建造要求

使用部級等競技物が強化により中 東我又、生産は2、生産は2、生産は2、生産は2、大学の、一、中小工院に及ばせる影響、運動の、対学の、一、中小工院に及ばせる影響、運動の進展に伴い物変勢入の修建、に連携した

特の「米國小包術便嫌的」に基言 七月一日から愈よ實施

卅日各道知事に通牒

族状況等)(^)從業員の状況・重戦況(授業状況、生産品の轉

きのよ開票の結果

全鮮工事契約

の繋約高は一千九百萬国に遠し未 八月中に焼ける金鮮土木建築工事

題、果糖、アミノ耐を

家中揃つて召上

たる萬人向の美味

贈答品として最

門落な栄養質

所州支軍弾地を備ましてゐた黃(自慢にならぬ話だが』と興味ある」。連行が出来ないすうにし、「いて小を向付えと」してみる人まり

では高泉龍・高泉機関龍の魔泉を

勝を博し一に日本空軍のおかげでった、泉伽軍はこの時はじめて大 孫殿英軍を敬認した時も愉快であ た字架の皇郷第一軍六子名に超力とした岩地郷戦をやった、闘順し

蔣政權が存在する限り

日支間に和平なり

西年版服が約二割、白オランダ統 系の復禄は一般の市優より大體ニーなったが、委員會で設置された 商工省では即日施行すること

金の撤布によって前期の金融道道

工管品が二割中無品が三割並一選貧設定も含まれてある

影響調査を開始

週間別對は三岐事在下に南々復興。要置は左の如くでこれを金陵に通 | 十九九二十四歳へ | 劉七分五厘陽

級」で三一成準備に性殺されてあるが決議文 | ある、この内部は旅客收入五章

開封で反蔣民衆大會を開く

等品が二個五分・自轉車チューブ

米海軍三九年度豫算に

地場銀行の業績良好

地場銀行業績

上半期成績は順調

內閣参議欠員

玉三氏が有力

の感覚を整へることにたったが、 第二期正班より一名、 此田班泰諾 今次研光に當っては海軍側との均

時局に ふさはしい お贈物 健康増進の

先様へ通じる 真心こもつた贈答品 そつくりそのまる (導賣特許の滋養料)

贈るに便利

頂いてトラモ頭して

あなたの誠意と



のがある、血と文化の関節を一は必然的に章に聴縮せしむるもしつ、ある人類耐容競技の歴史

翼的任務を果さむ

打倒の我が朝野の

十米の低空で積上帰引った。この時空爆をや

元同友會員思想轉向の聲明

上離信するに翌つた水常である と離信するに翌つた水常である は今く日本全数のそれに合致された、興路日本の前途水族して の間に東を排除するものでない 間がは、日報の前途が狭いこの 間がれて、経路点に同様の組度 源に放す一般であった、今日と を減分すべき差異の話録件は固

の進行=指編型諸院被を自人制 即の体制から解放やんことを目 節した経験なも様は了整盟 後期何なる機能をも様は了整盟 持久寮岡一動となりて目的の貧 勝を削さればならぬ

鐵道局十二年度

壁山局十二三を吹入川次与ここ 十七國八十六錢、藏田經常部一九 蔵入出決算 #出入品等に語する臨時情報に題 ★入時期と同様指定期間 三七金漿素▲三五酉尾角製▲三一七千萬間に及んである伊▲三七葉鴨煥▲三七生楽県 から愈よ質施

も頃合なお値段

無駄にならず響的的 化粧函人で體裁 も大變よく 一家所選のお飲物に 撥飾用化粧函(二本入・三本入)亦仕金綱有名薜店、食料品店にあり

五日(火)

對全京城

◆六日(仁川)對全仁川◆八日(平壤)對平實◆九日(平壤)對平鐵

日日 百(土)

H

午後一時 午後四時半

對

道

學招聘野球戰

売ります。
売ります。
売ります。
では三日(日)

殖銀盃爭奪

ゴルフ競技

柔道大會

道館支部

午後三時

京 府 鐵

場動運城京於

服して龍頻虎搏の熱戦を展開する 名、良外省二百名登集、暑熱を征 能するが、四段以下の有段者五十部軍場に於て講道館楽道大賞を開

蛮事がゴルフ競技会(三十六ホー

加養八十名で、A組はハンデイナ 時中から君子里コースで開催、季 ル・メダル)は三日(日)午前八 京被ゴルブ俱楽部個月旋技の聴報

九以上、B靼は二十以下である

絶対に行うす、若來を最も開発

めの投稿はアウトドロップを武器

一般の不調で、 子園にも出場した体材、全軍を引かの懸があつ の田身水原の前、碣石より稍先んかの懸があつ の田身水原の前、碣石より稍先ん

はれる一般に京城管勘自身の花形

| 神学、門村三英字 | 伊藤 | | |

原物再生には一言半句。

た最も適切ななな意見 れこそ全く我が意を得

るが弱へて見るに花輪 大牧何間といふ高値な

等期期の代表者

上限 るの 今に始まれる

方には機能的貯蓄の

一般見も出てゐる。 こ

タイガース

在鮮中の日程

八指伊小孫小門雖久保田中路 薩川 澤村片保阪上村 米仲公 『四 夏 常俊雄乙夫棺俊一招勝人畏夫治

取門田身で同

すであらう、田上主將は日本大學は、最後でで城下つて明治を脅か トップを承はる有数手中村の打棚

の主因は延載

期待をかけられる同策の耳砲でこ

花輪も制限しる」といこれと同時に「軽機の

原阻しの登録な花輪を

滑け果して踏かっ 配して繋び窓頭する

多少知名の土の

意味な花輪を供へる者 富つては既然大に改むたのに、この凶難時に

は々世紀の最帯√とも かりでなく。全くそれ

ないことなく一層 説の漫画観念か の森と思る

輪を見るに造のお粗米

のであるで 銅貨屋 かたす べきもので たい

る花輪は富然版すべき 平素でも検討し定費た のタンとなる その全部が頻繁の何か

先づ第一にその花 た程の資なら何人

ると「解儀無肥し」と 務料であって使い古し

の親いの旗も或る程度 るならば昨今の新聞紙 かりか、切詰めて容ふ

遠のたこと 1世族への歴

なら、どうだせめて三 して配介測せられる位ものでない。五六個出

輪を供ぐる等し大に削

一般手、松が手不測の今日最も

八島米雄であ一様されてある。

断保原中學が一般する一般、これ態新成の活躍に

時から翻著明大選撃の第二戦・

門村指を構名、左次保坂登、中堅

ヒッチングを見せる八幡中田身の一布けば、三嶋上子印 期待される惑星府廳

をすったで、この音が低い下版に「快の守浦、硫度の打撃、不振の府田上を天、右続車対機部の陣撃で」の攻守の重要に過季久保養人で起門村街を構立、左翼模抜型、中華「麻井藤が代こであらり、真下同軍

腹側にあって一陸消費を放ってあ

邀撃の第一

庫

釜銀先 000

000 000 0

0 2 A 7 A

上海 一戦に 釜鐵を取る

强

ぞ明

つねに忘れぬ双葉山 激勵を

ばせてゐる點だ、徐州の謝取で片、 自女の職構用士を無料相除して整、 大人自の確認を見せてゐるが、最 かない特長も「何年」らかに角力足を失った男士で片耳、片足の利 行は目下大阪の騰西大場所で連日のぼろ双葉山、男女川、武蔵山一 【大阪支局酸】近く半島の土壌に

ヤンも微花か』「夏季の歌遊ぶり「所次十六勝・天下無礙の實力を育」と語った益々顛散しい複額であるを見て非常に微微だ、田利強文子』大分縣人、多年勢力の臨物は本語(尼泉華を過ずつもりであります』 さいました、どうゼニックリ別が、て自分は観にあり難く恐部して居とせられ、御姥笠中よく御出で下、た、後来度な昵略の言葉を貢載し も知る双葉山は南部皆とは河海の とめ権機の御期待に添ふやう角道 下さい」と心から頭をさけた、人のます、自分は常に努力能養につ 「確する関係のために一手を補性、所にも関する情報といまった。 実施による対象のために一手を補性、所にも関するに対すて正り、工業を繋が上述の正月場の業がに対していまった。 別様行きを集ん

一には聞いた。などと子供のそうに、し今や正に全盛時代とも云ふべく

大阪場所で白衣の勇士を喜ばす

▲五回(釜)渡邊一飛,中田三撥 上 北井彌彩点(明) 疊井三面、玉 地井彌彩点(明) 疊井三面。玉 投に里主頭本泥面 赴 投に里主頭本泥面

弱い子供も元氣百倍伸る、肥る、智慧づく

酸育期の

表 4 名 4 图 (

児童に

伊震辺りの井投信を開送の場所は、一連、矢野三省、伊震辺りの井投信

際送三間安打に伊藤辺り毎日 ▲九回 (釜) 森川三御、藤夜四段

全鮮中等校陸上競 午後四時午,京城球器

川京成連動場で襲行されるが大食 (幹は廿三、廿四兩日(時間未定) 商月年「京場中郷リーグム級戦▲

十一年一月一日以降の田生者) 一郎・数へ年十七歳以下(大正年十二月卅一日以前の田生者)

の海を初りて帯した、開戦六時 五分・試合經過天の如し(成北村 五分・試合經過天の如し(成北村 签 川森藤惟 川小旗中丸 数 村川波田 本島邊田井

本の数次に生欲に入って接似し絶。本の機變に大いで具元の武漢及久を金田公設進物場に近て集庁・朝、後既に演員の暴毘を呈し、定例開発勘要を検ね一日生英四時手か。陸頃から城々郷恐に詰かれ、別戦職者勘要を検ね一日生英四時手か。

を願って東方遊拜、阿郎還南州市

野蘇薩田正腰木井越不主 一種目に付き三名以下他し榴麦の四種目を除く)▲田巣網膜、投、○繊細投(但し二部は○印

り流飛途低を行ふことに決定した ス月四日戦名音権軍(参山)五 日同(大郎)六日司(実戦)七・日司(実戦)七・

行つた後漢州野球聯盟の沿物によケデュールで朝鮮で対名古屋戦を

1

II連
朝のH者
明大野球軍を迎ふ
主催

防融金

一、金二百四十九個六十一並也 但東語對吳克色版單上穴会(阿 標本の他の實數條節) 「解入者」半品市テル、朝鲜銀行 ,接入會」「與土體六軍、 所留學 原名是、 執山南大、三井一二 展記表、 將田南大、 千代病、 四 一卷馬, 他由林枫、 鄰地縣典

第十期決算公告 第十期決算公告

合が前日未買未假預割支債益別法株 別部高排 引練 資金定 純純新配掛棒要リ ザキ 入退役準 金越大名 ザギ 集立雄

創立 明治三十二年

ソワル絵で

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

能 朝鮮殖產銀行

夏の御進物は

しさを

りませう

満なる宝沙千萬圖◆ 所六十四ヶ所並に良 東京を地に支店あり

けで贈る時代ではありまみやすい品物を、見得だ形式だけの品物や、いた

世界で最も科學的 合と合理的な工程 な標準石 とに依つて生れた 低油の配 祭によって測算を配がでさいました。 一打脚見節)、一打脚 鹼です 能*压O*

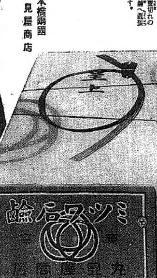
朝 鮮 専 屬 販 賣 部 大阪製麻株式會社製品 帝國製森株式會社製品 帝國製森株式會社製品 帝國製森株式會社製品 帝國製森株式會社製品

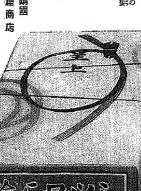
球大会理能強選與京城機選会は十

不好也或能會主催全國都市對抗点 卓球朝鮮豫選

日(日)年前十時より城大景墨部

本舗 東京日本橋兩國 〇丸見屋





花

夏

姿

ーオヤマリンダウー

安達

潮

花

多い、小さい時に学供らしく

うるさがって、子供は下のものを

韓軍といふやうに月首り易いから、五、子供は子供同志遊にせる

し、三触車の好きた子はいつも三」ふことにもなります。

率したがるものです。例へば約率。供の知識を高めるの言質に大切な一めてをくと目眺のモヤシ見たいで

達の中へ入ると自分の考へを押追いものはないと思ってのても、友

す、妻子た子は家庭では田来な

のは朝気や他の色々の花を押し花

合ひ、友達の間にもまれ、ぶつつ

頃の友達が是非必要です友達と

いでせらか、天に開闢ですが、こ

即前に祝迦を勝き合ふには同じ は一関前後のものがいてのではな

然し奇犬が狂犬病に徹らねことが最も防疫の理想でありま 悪戦などでも特に親心の海注意が認ましくいぐら日頃接近

てこで第一には一般領主は奇夫の製質を験すっること、第 つて来る関係でお互に大に對する要心が肝要であります て居りますが、之は若さが酷しくなると犬の生理状態が變 から既に首件近くの咬傷大が出きして、様々の人を悩まし

一には各条館に於きましては幼ないお子継達の犬に對する

すから、本道衛生試驗室に於きましては毎日午前入時より

は現角でせたが供を自慢する傾向り、面倒みがつたりせずに正しく

だしいからとてでたらめを致へた

うなさく聞きたがるが、とんなに、ずにきちんと所謂けさせなさい のに解れさせて、頭をつかふことの難なの離んに子印道に何でも、び飽きたら、あとは故つたらかさ、注釈して風寒るだけいろくしのも

おませと利巧とは違ひます

子供を利巧にすると云ふことは |

く育てませう

氏は無邪氣に

中元夏田しく日から十五日三

人を咬む犬がふえました

元夏出し(一日から十五日

につて、物盤スがよいとか神動。 致へてやること、五、六歳以覺え

所謂。たことは長く高れたいから、よい、氣にいつたことばかり何便でも縁(一方・すべてに真に精動させて子)神経、微へてやること、五、大説以像え、一子供の心理に集神だから自分の「せることが大切です。日で殺くる

意象で成職も強くだるでうな場」しく利巧にさせたわけで、反對に「どかり好きな子は特本にかり見る」ことで、長貴らせ子関語に心を変

一〇二十 物を作る強ひ、

● ◆ ・ 年盛りつ見に育 ものです、散らかすとか発物を持 ものをしきりに折らへようとする 子供江本館的に石場や根切れる

す、親たら行魔帝に開食で動物い、側作しようとして知識を練つてゐ」ものが用てゐまずか平望。第一のでその話で他様に緊繫するので、て下さい、何か幼い頭でしまりに「りました、母子、周暈によとえ がまはたいが、卵寄り子と云ふってするために直ぐ根木、砂場、給 一世、船に続い切り標準重へ

に属子が側属のはしい主節にた

一番いいというが

利式の振襲りの方が多くなりまし、めていましたが今夏は全体を絡め、一般駅の意味で洋式の揺散りよりは、これは昨年夏の暮りごろから田柏

アルミ扇と横骨圏扇など

らめ、脳、智能に對して注意する。る異似た心を構(取つてしまふの一目の見を迎へましたが別似今夏は一

度だけでは

勿體ないあぶら

油連しをこっていてお

附け合せにする上から大戦便利で に易館療を空遊びすると不思鑑い

不味い歯になってしまっ

何・度・白 他つういろい

油が生きてある。これは場論強を

新らしく生かす工夫

が投げて財も劣り、油切れも悪く」さらかと云つて無駄にしては勿嫌。に張子をさし、中へ態度紙のやら油・は。 逆逆ふと所謂泉 提げがふつくらとゆかなくなるが 一番よいが、強躍しがなくこも暗 一種よいが、抽題しがなくこも強

◆一◆一

に捜査で手に負へないぞうに背

あるため、日ばかり大人のや

正しく利巧に育て上前る役心 | 車種の影響はこちらの方に来) りました。様子。関係にはよんだった、観心たところでは彼性が作り、そでせら

年あつのが

面のなどは、企製の依頼かい州へ川 一アルミ にたつてなる

は関係しまを帰ばへて要がれてあますが一のところでは男媧は五丁鶏、女物

男物は一三、四十級か

士銭から二個くらるですが、手頃ら一個五、六十銭まで、女物は五



な日本紙をしいて木灰を一瞬り

【第五局】 二三四五六 加 松

版、完正水 (1977年) (1977年

古くならない。パタを使ふ西洋物 するには機能、ピーナジ油など色 おら胡麻油ですが、養理に掛加

理にも、ヘットやラードを使ふ安

プロ主ゼると敵約でもあり、栄養の影響運にも、薬師な諸麻油を少量

上から云つても動植物性脂肪が一

とませて使ふとお美味しくもあり

好手五七銀を逸す 松下氏敢然攻勢に移る

養 飯宴物一郎

號(全)

本子代用になります

間・ほ・家 野の食用油と

ペンの繰り締を一時に揚げしてひ

で、子供問語お宮に背幕を交換し 関屋といへば難骨ときまつてゐた。ようしい、先づ誤衆(種類は何でいふものは本館時に欲しがるもの。 れには指常に纏ったものが出て、「つて、それをゆめ浦に利用すると さへてあるもの、模様で面白いも一人で持つておきます 全部の様件を一本の太い維付でさ、水に変して魔氣を抜き、布肌に包ものが逆に枝骨をつかって、その もよい) はとて洗って細かく測か ろ言籍指言すが、脂身をつけて難 **が別の風味あるお物菜として祭**ば に柄が普通の長さの牛分の短かさ 豚肉は繊切りと 占いお英説け利用の支那料理で 風味を喜ばれる 漬菜の支那料理 支那では古くなった集一て風にとり間に又脂身を煮留 し、丼に入れて 版内は安いとこ 肉をいため、水を少しづつ注して を入れて著語かし資菜を先に炒い 混ぜ合は世里に盛ります、 数へ下さいませ(悩める母) マーキー いっぱい でんかん 本の 警報の協め 船と全身にアセネの 警報の協め船と全身にアセ 衛生相談 アセモ

職の消費は三三日できれ なります、この方法は又最も版具 ・適當な嫌防法でもありて 豆如鼠 ルを獲過なく撤つて置くと 是を一日数回線り返り

のエール、水竜一杯のワイ

掛けて来れば、光季面音、九八歩の折り、一四歩、一一四歩、一一四歩、一一四歩、一三歩、一回歩、一一四歩、一一四歩、四大地に打つて忽ら遠鏡に呼びなくとも、ボックリニ五歩と突さ、低単七四月のマッリニ五歩と突さ、低単七四月の

脱肛・痔瘻の人は、 用便の序に

小松寿退座

薬を挿 て、病気を難しくし、一寸はふんは、免角手おくれにし 早いが勝ち 消らぬ様にしてしまふ人だ。 **小松なんか効くモンか、と云** 内痔核・痒痔・痔出血 その勢ひをかりて治せば治患も強力は旺盛なのだから れて局部が腫張したがる、汗と股声 どうしても充血して痛みた 部は大いに冷えて居るから 安全な端なのです。 の御心化になっておくがが 至身的に暑いと感ずるが息 早く小松 これからの痔はダン!

すれば病勢増悪をまぬかれます 栗價 廿銭 全国薬店にあり 退库

釜山出帆

州野船(松川) 長所財命一茂昭

九州郵

船田帆廣告

部社





七月十二日 七月十二日 · 長崎、 迎兒島、 七月五 七月十

東部仁川川帆 中間 1 七月十

執鮮函船定期仁川出

帆

商 玉 社會式株 京城支店 城 支 市商船株式會 國際運輸會計

証門司股神急行 衛 優 秀連絡船 を マ日 午前

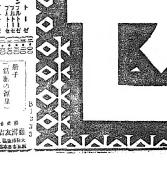
高店回漕部 (新麗斯) 三〇番 (新麗斯) 三〇番 商船赈出帆

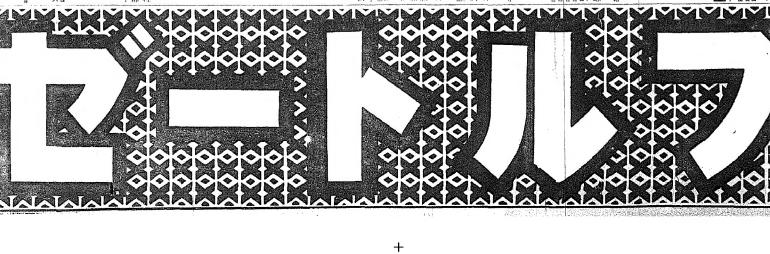
七月二日 方日 七月五日 Ξ Ħ 8 8

ゼ月ゼ日 八 日 聖候間僧を職料用職員 聖候間僧を職料用職員 受益内保証升聖店 育大船 造 ф 7 000 ウ

型大國帝各 正備常院病 コケキュート・コケンテルトーーゼ セゼ 册子 ŧ

生人并 生人并 上 店商古友洋陸 東亞里里東市B大 東夏市B本島國本田





夏のたそがれ――密陽南川江風景

級事故があって上り下りの各列軍

の原因を関帝中の折から父もや 十九日東東南縣様内で機関甲島

原因は砂利運搬列車が登上時を

賭博村も更生

六分東與南縣着後機関車の入村同日午前八時頃登車し、十一時

東は廿九日毎事堂で説者殿と作品 甘樹果既免を観察した著賞審選知 【製造】新藤製資料では決る二十一果事故設生後四時間月に「耐く復新」一簣はなかった

崇られた興南線

として新産郷古面の古鳥里の部とも各種を襲つて盛ずべき事が選も各種を襲つて盛ずべき事が選付機栗の新鮮をしてゐるが自分

から更正計費を立て浦五年で昨落であるがこの部落は昭和八年

自作機を替んである存標できの は基度観い板を駆して冷めしと と女の手をおいてある又会川都で は主席に田本である又会川都で がきたせんとして低に三軒だけ 活きたせんとして低に三軒だけ 活きためるフ会川都で からなりとして終めると

漁業者の無統領艦優により年々城

[平壌] 大河江における淡水魚は

大同江の淡水魚

東興南驛で轉轍手の過ちから

またも機關車脱線

明大招聘野球

仁對川全

料 場 音 通 ・ 100 ・ 1

七月六日午後四時

仁川公設運動場

貯蓄機能の呼ばれてゐる折柄、周一ち第一區性原州第二金原組合、第一組合程成の種質を説明上投資選挙

遊展行、第四版は東山小巻校で何 | 合理的を演場─独可決、終りて点

智は去る廿六日午前八時から輩祭

濟州一最近大鮮面内に面長等の が面長と音見、その異語を質し

【米門】韓原刊院祖の春主古町市

報國の消防演習

展は原州金融組合、第三雄は稲(組合長、酢醸は、戦事)の後、相

即ち原州邑内を四郎二十七組に分」島養養者が、武邑長からとれる

原州四ケ所で結成式

成し、那内貯金直接撤四十一萬四 る廿一日就後報図置行委員會を結 州ではこれが萬全を期するため去

部が各部落を分類しその削目まで 山漁村生業報國日實施當時の通り 那邑面、雅琦署、學校、金融組合

首の徹底を関り富日の行事を指導 部落にて講話音を別催しその極 ての他期間停職員と地方公職者全

れたので廿日午前八時から

十六日所江原神社と改称さ

宛参席、李郎守、金八坊王任、牛一兄祖に既合した れも午後入時から各組合自然行名「國国民の登詞を明師・同十一時盛」祭物内で施行、終了後明報を確認行、第四届に再は引き起て「「「「「」」」。 後から後から新手の思聞鞭生に取 【仁用】時線の消費に伴い兎角人 | 事件が發達しこの暑いのに係員に | るが、その質礼質却を引受けた使 ■新手の質札詐欺■ 使用人の惡事から芋蔓的に露見

> 鑑及び現務者から食計検査を受け 石事質が隣接するに至った

踊長 會議 【永同】 面では 十七日間任したのでいう

事の機管者金子組より建築用に整理方法を考究中昨年末頃集工 絵間の包質が生じ阿面では五 昨年夏间面武陵里に赤痢が温気

場用地造成資金

積立、管理條例制定

屋が賢入品の鑑定を誤り一般の夏 使つてこの質札を賢却せしめてる を起し流質した物品の質札を実に 買價より高値に預りごれが油質し

七日競技報適取行組合を結成し 神であつた作川神社、主る

にほ常日の行事實行に對しては他

千回の消化策を協議しいよくせ

▲ まだ事件は推動にされ犯人の ことから離配質量の憑事まで芋毛 氏名等は判明しないが府内の某質的に関見したものである 指だくで服命の取調へを続けてゐ 一冊人の便込みがばれて検察さ

倍動位の高度に作製し或る人物を一を緩和する概念派として現大時間 大同橋の步道擴張

るのに着目して行はれた事件であ、極市価地計劃係長が主域中華人目が重複物の置貨が頻繁に行けれてる。本財の歌陶を打除するため能穏西 たもので、これは最近の特債局に 費田し工事を實施することに決定 つたので現大同層の配割な交通難 『平廣』府では遊覧の長期化に伴

分の製取所業が融負した形式を が一回分で負債整理をしても同 第一回分で負債整理をしても同

から府職登議軍で開催されるこ

【仁川】仁川府曾に五日午後一時一の自樹ともいよべきもので観聴耳』る各種の工場家大智师の観聴にあ

つ機器を属する大工場の誘致にこ

りてこれが用地の意成に最も監要

五日開く仁川府會議案中の大物

志の諸門を受けた際での場で面「広願する件」は奇野幹と地議集中・由広放でも『近來仁用所に漁用す業を充したものである面して有「地図世まらまっぱん智君都を推覧」して得してきるのかまり、その思

地辺成長金積立並に管理技例態定 になったが、上提議案中「工場用

して持つべきものがあり、その理』るため強め事業資金賃立並に管理 れがため便益を得てその成果は期一なる事業とす使ってこれに組織す

特例を設定し積極的に工場の搭接

省局に現て府駅の通展に発するの

機理将兵の英雄に対し撤離の軍 表現して野国 I 政時観光服に通道 むべく波内一斉に左の行事を

知識、監影持久の物質を増進させ

益々乳場すると共に吸収格長の英 機動員が数を具現し、以て報道一 の精神を知道し且つ物心卵方面の

致時難の克服に適進するの決意を

形の窓を表すことしなった

「春川」郵便局では貯蓄機能の一

春川局の努力

簡保一萬件

舞者曲を停止して砂峻の英鬘に敬 開催等によって意識を添へまた歌

時を棚上進内各種画、部落一種に 置には関を縁げ併せて出在特長の

出版将兵の武運長之が順界を執行

すると共に正午一分間の歌劇を行

博をするはか出征應召軍人建家族」
い四颗打開、東湾府長の英雄の追

に適題する公共的勤勞率化作職一冊一頭、競約高百十三馬三千九百人れ、遺跡の修繕・土木を防工・大子八百八件、持込金銭六千四百億円のつては用、別・株のでは、一年ののでは、別・株ので、一番のでは、別・株ので

東級を生てた形様あり時間指所際

香香內大母駐在所員は歐治御

七〇四號機闘車の脱級事件あり、

銃後報國實行組合

四十一萬圓の貯蓄を目指して

他里會見まるの思載と判明した の関係を得て血胆の複変の結果、

卑劣極なる手段で

私服を肥す面長

更に書記は國防献金を横領

濟州島大静の不祥事

担近古で除草中の高絨瓜縣内面燃

関係性せしめると共に統後の

は塩酸の整義並に時間の重大性

七日の左続事(現て毘迦し姓後の発賦、緊流持久 発主義の質行紀念勝度、勝時食の「流光」來る「歌の繁養及び時間の重大性を更に」の動間、生職機関行事の質施、一

質の純益一手二十四個のうち五百 防粗後後の下に開催した技生確実 れて、献金万を客記した は陸軍、五首師は海軍器材養に 権

駐長から

実府

尹を通じて 悪質のいたづら 【春川】新設江原産産産館の初代部

春川神社に参拝の後初登置し金知 事に歴史の上、介護室で部員に表 整の出现へを受けて潜狂、直ちに 後五時廿分会知事をはじめ官民多 納まった。以下阿斯廷の府丘恩一 した宋文童氏は家族同伴廿九日午 素面長量と書替べられた面長軍に 任の挑脱を述べ、構れも新たに生

栗客には何難被徴はなかつたが、一可能性はないすらである。この核 報に接した岩質局では第二素の高 から節色を示してあるため質現の そのれましたに対では全株何分 【七川】一旦附を以て七川府職多 | 連しこれに伴ひ慶義卿の美願が行不肖寺回本道神代主楽部以を命 この非常時に留り遠原不肯の身。訳、と賢して、人間で書の残ら

たい、行原並の走撃方面は近年・野客保廷に積度組出利く苦氏が懸たいたい名を養産に埋、集主にには保険組で飼養といい、大衛でありますが、消費、会益質組の保から投資され、創設、合作の特徴が、勢安治によって、「海線費保が開業から分離領立して、大衛でありますが、消費、会益質組の保から投資され、創設、合作の特徴が、勢安治によって、「海線費保が開業から分離領立して、たい、行原並の走撃なり、対策、 松して郷とたり、人格関語の野あ

宋文憲產業部長着任第一聲

夢により業者は何れも中間商

成所修了式 月一日開射地方吏員養 【春川】四

の修了式は昔日午前十時から邑外 **宁頭里の同版で、金知春以下開保** 一種一般 一般 あり同十一時半め

工会議所の段配運動は早くから 商工業提興の中価機関としての前 城津會議所 設立に曙光

本府面工課尚本題直接本題が米坂 一府へ提出したが去る二十五日突然 一会より類似書類を一括道を経じ本 けられ、昨秋柳立郷質を様で樹工 商工會國所認可に要する業者 ひとその課題に損車をかけ今で 望ての他大小工場の適田により は熱利を致る思家主も相當暗線し勢い限制な住宅離を楽し、阿特 「平安」以片於精里一帶口雜誌 悪家主に鍛槌

長統裁の下に管内属長倉職を開催しる そことになり家女での他の別

院会約三百興館を過去二ケ年に 受知る色学動所を観れ事件の 代納した鬼声家であるが二十 六百人の税金代納

人の膀胱と消渇に

長以下非常に感動してれた 以及同附加税六百五十八国三七

計畫はその後疑調に進捗し資本 財職経由正式に設立認可申詢者 者を網羅する一大木材食社の組造 社を精成っること、たり、自石 咸南合同木材設立

されてゐる、重な騰豪三の通り

並に 連絡設 備工事計畫變更▲ 花水町及び孤石町地先海面埋立

必要あるに由る」と述べてをり可

キンネマと海刺

少してゐるので平原道水産資では「ドナショナル能化」が減の扱統水魚の転腕をはかるため今月末、フリードケン共可量を一種で、現の機会五萬匹を可奈良に公会(田ニニース)の機会五萬匹を可奈良に公会(田ニニース) 高田浩吉、伏見信子主演・グラン松竹京都作品に八起。名月始御門は、佐分利信、坪内漢子、主演・ | 次親音 | 出張|| 由中新代・上原 | 東在|| 回 | 本松竹大新作品清明 | 【七川】 計田より三日

◆ 製造上版於用材理一程十五區分配十版、李報金 大個、電性用,和企工與公正確、宏視各十個、個 上百十級、監督が服务で認めておけ最大ので記念。 十、代金川等は切字出域形の「悪。 文器は安原行復通・「計画報表の「悪。 文器は安原行復通、「新、」 發質元、集、新、製、築、所 發質元、集、新、製、築、所

藥價と注文方法

要元(初北文文に前面育あれ、親切に貯益する 代用品を博復りする事あり、品切の時は全才数を 取断下令六三二七名 歴帯では一人五八番

几 七 田 安 町 本 第五六五番一七二一語 配 沒商業石田西坡京 等級 費 代 去 词 本 權 解解 此 古 頭 本 地 年 東 平 遊 報

他として大西江沿岸流域組合を「ウオーレスペアサイ、ワーナースにつたか、向水産食ではこれを域」間(寮長二国)▲フオラクス航大につたが、阿水産食ではこれを域」間(寮長二国)▲フオラクス航大に対して大西江沿域が表現している。

造山 辩 天 京城鄉路四

Ħ

黑崎

南仁

海壽

町森藤大山

堂店店堂堂

町町

田田田

n 春藥藥 所修了式、教育中の江原道、生配手提表は併日午前丁時から、民國者の下に暴行教育「添川」かれて「曹操官教育所の本字度等」類修了「山村實際都是以下各際技・解係官

びとなった、現在大同工治量激

に従事する業者は三百五十餘名

る七月中に何立種会を消費 数手を駆けて登成してるもので

出征將兵の勞を偲び

に進成せしむべく別様言野力して五十六百で何今年中には是非目標

陸海軍に各

各位の御授助を得て

道勢進展に努め

五百圓献金

護國の英靈に默禱

更に聖戰の意義を認識さす

開接」去る六月十八、九の前日

演奏會の純金

沙声三峰、開城新闻郎會、消

近づ〜事變一周年記念日

のであります。本道は帯ひ極め、東に今度の別義・そは一層重大 関係を応り取る。 用海茶(QC (QC)) では一日子後二時から孤倉陰宗 農振委員會 [永同] 即

長として京都道座南部長から崇興

統裁の下に襲し五金融通等、移種的にこれを助 は原当の統領、数質統領、選曲 して年重要を一體三十萬國に陪 であり、組合結成と共に水重度英大な私益を理論されてゐる時

する魔大と考へます。しかし本人協議したて養風豊富で開墾によつて深層「協議した

上川府社會係

獨立し課に昇格 初代課長に上田さん 製物にも真全を期して年々魚那 せしめる計畫である、更に無数

忠北の繭共販 香しくない成績

葉の充度を缺る節立後は経南多 十六萬七十五國で、前年同期に 百三十四風域となってゐる、その り敷屋に十三萬三千百二十官、 販所を限りに終了したが、糖田羅 【清州】忠北道内本春の蠶繭共産 へると數量に於て二萬九子七百

を實行せらるしやう切に御疑めする。 うした容體の人は

界の謝物を集めてゐる故に慢性又は再發に苦しむ病者は速に本療法は庶々雜誌や新聞紙上に發表してゐる、兎に角變つた良薬として斯 なく、仕事に差支へない、詳細の事

置引取券證所引取**鲜**朝 社會式族







表手足 コルセット (m) 技術 ほ 秀 技術優秀 進歩な民セル製品 與病並-飲水期期納水學海岸。十日與內土成 桑吉川語 **高野發肢製1在所**

其急所を衝け やヤケは禁物 を早く治すには

酒のみ乍ら治す逆療法 して働

らぬ人はすぐ試よ

に就て研究し其間色々な良薬を發見され、最後にゴノモト逆療法を 本療法の發明者柴崎先生は一 一十年前より終始一貫して花柳病専門薬

後明された、此楽は無味の黒色粉葉 い髪つた薬である、面も三日間に であつて酒で服用する全く類のな 一回の服用方法であつて優熱發

局部方面のみであるから苦しくも するのである、生等絶野なく熱は 汗し深部の慢性淋菌を製菌指毒

て見ると素的やする存帯がある。 が他の色は個く織つてある、他のの筋引つり職々、職婦職も聞されてゐて治る。然子か見えぬ、水健を振って筋引つり職々、職婦職も聞されてゐて治る。然子か見えぬ、水健を振って励る。 という はい はい、 寒丸 と数は致感に魅つて脈彫を取したり、症候を難したりし、心臓をがあります。是かまた他かな感で容易に治られ、 昨日の養物の職で治療し難びの節りわざり、職に來られる方作日の苦傷が難びに難ります。どうぞ疑疑の難として大 「富家のメノモト難飲地が殺しよい、不治と思ふ方も思わってかのやうに題み苦しな彩生都能するやうになります。 是を見てもよくきく事が分ります。 **新** 水

よい、初めは解説が最くなつて小水が近くなり、皮部がしたり、水水で、、切めは解説が最くなつて小水が近くなり、皮部がしたり、水がます、初めは解説が最くなつて小水が近くなり、皮部がしたり、水ます、初めは解説が最くなって小水が近くなり、皮部がしたり、水ます、初めは解説が最くなって小水が近くなり、皮部がしたり、水ます。

ません、から都羅には密泉のゴーモトを動財して郷配を、その他の音響で含るものではありません、姚煕の謝薬をくるものではありません、姚煕の謝薬をしたり、こし唐をしたりして象体のに 思いがけ

の上版の観音をするとよい、数子が加にらなつかれます。 の上版の観音をするとよい、数子が加にらなつかれます。

院病人婦城京 城武藤玉 ルトクド岡崎 治泰本松 土株常医長院 地區四次町高水北市城京 三九八三本三八四本電





はすーラを聞られます。

ません、おぼりの方は早く対理を脱形下さい、

瞬者の喜びを見よ







+





國報金貯 行銀蓄貯鲜朝體 . . Regada - 185-bagas - 185

小生は三十六郎、第三十二郎 ・ 十年前籍館し、十郎にどら及男・ ・ 一人をります。籍歌後間もた く妻とは蛇鼠しとたが、ひそうま こ姫郎なおと乗わてその効果を たの間でなるとしたが、ひきま

ら輝る顧調に認過し、初産にもら輝る種間つはりもやまず、最初かを服用させました塵をの気が表

幸尺

で北部の婦人は死産や早産が非常 動物質絶によると、ピタミンB たし、また面白い事には、賦歴

南部の者はその三倍

ので、蛇崎にピタミンが鉄芝し死。「籾一貫五百匁を失つて十三貫五百では之端が食料に思されてえなり。 元貴あった婦人はお走をすると

子供は大浜塩敷敷質です。 と、一貫五百名の體重をとり戻し起し易く、また坊消患れて と、一貫五百名の體重をとり戻した。 この失った三五〇グラよの血液 ◆ 表別 を依御するには

の後も妻は難談に置から

もとなる題み強けてるよし 田る完全た乳でもつて幼児を 少しの故跡も無く丈夫に育ち た。そのお願で子供は社んの 心配たく者で様と「競別わか

一生れた子は丈夫 (職命指明在) 武縣其二郎 て来ました。學校の田缺は昨年販添が流行つ 「鉄鋼わかもと」も遅んでのみますので、今 しを服させるのは損の機ですが病気して鬱師 みた田原です。丈夫な子供に「鉄館わかもと た時出枝停止五日間あつただけで、 しましたが、三事年修業まで優等の賞を世の

安産

妻

は

の原因は、北部の婚人はピタミン にも上つてあると云ひますが、そ 日中口等の豊富江省物や小婆尊を

、心臓病や粘核を

最近的党が進んで、孫々の

◆・紫養 森の必要なこと

赤ちやんの

日本郷船栗船即申込は終此に御組改します

柔か

敏感

朝鲜郵船株式會社

用汽

には

河道

り達力とを食べると食べた哲學はお B被合類及びアクター1上と名つ 乳かよく用さすが、態度のよいお B被合類及びアクター1上と名つ 乳を申ら、一方

る単一学説報を望ってりも「鍵盤」いた画から始めて、だん/〈楽 活性酸にたに数種の有差徴を綜合としては、ピタッン郷、東ひは一葉を持てみます。一葉や肉のスナナ、お郷・牛乳、この薬は、ヘーフェとよばれるとしては、ピタッン郷、東ひは一葉を集らこのも、寒淡は胃腫も、たりません。 この薬は、ヘーフェとよばれるは、特にピタッと郷・大きでは、たん/〈楽 活性酸にたに致難の存差徴を疑してるますので、常分は野 方に用むられて計画を練してあるする。 この薬は、ヘーフェとよばれるは、特にピタックトと実権数の頻 は、特にピタックトと実権を関する。 ◆一座が の電歌を早く後 には、非常に多量のビタモント後

野ガデキルヤウニ リシテ、ウント!!! わかもと本語カラ 生ニサシ上ゲョウ ウチデ服ンデキ 相関引擎なった

復の全身的な磁果と相換って、

❷日鮮海運禁會礼 七月廿七日出帆 元报船仁川出帆 極勝進極支店

質の不足で、これが適當に補給せ 独合衆後の鉄路から來て居りま によく流早産する御船人は多くの 心臓、野狼の病気からも起ります 中でも多いのはピタミンと無機



カの酸退から、心脈病や粒核を一般近硫素が進んで、顔状をにんだ若連身に移るのが受します。
まり甚だしかつたりすると、抵抗 またお乳の分泌を受けまります。素液の衰弱があ またお乳の分泌を受けました。 形質原音作用は、 ので、その成分中の で、その成分中の て、説刺恢復に著 無能を弱め消化 禁業分をよく吸収

またお乳の分泌を促すためには 歷安丸

注述便能分の代古 つり線に窓段を顕確ないづ近の処分 な景観を計かて立た上の項の執てけ こ付に飛以戦中・法値保税分の代古 ったっなくなひ用に広方な基準なん

歷安九鄉基元月 元山元日 歷安九鄉基七月三日清神三日 歷安九鄉基七月三日清神三日

三百グラムの血液を失ふ

金剛山丸 湖北三日 元山六日 〇敦智行

の新退行 の新退行 大阪行一號山—(四多)—關門—大阪行一號山—(四多)—關門— 一征 原 九 是六旦消珠七日元山十日 (元山ョリ名古馬山瓜) (元山ョリ名古馬山瓜) 一旦是由四日前沒六日 十日光山志言祖母志日 百元山三百遍域20百

総合的に就有する悪郷を選ぶの一るビタミンBをけじめ、AODB てまことに適當して居ります。 備かに敷銭といる服債であります のであります。 もまた原測な競者をみる様になる すっと、種々の方面から禁養が元 。健 つてこれを服用してゐま しからこの薬がは、一日の数用 いいいのないないできない。 ○東京行 統本 機能等語 ○東京行 統山 瀬門 名古墓 ○

即ち 「競問わかもと」中にけ、

無機 質が缺乏すると流 産を招く ビタミンが不足すると早産し易く

紹 江 丸 大巡四日 仁川七日 仁川七月七日群山八日末。北九日 仁川七月七日群山八日末。北九日 行 日野 日本型百 神鬼 日 野山日本型百 行 鏡山—脚多—昆崎——

1 博多一神戸新港 日 隣南市五日 七川七日

た企然を呼び起して何でも意味しく戴け、 結果で機能機械も、自然に無くなり、旺盛 が丈夫になり、消化吸収作用が流域になる 例等の細脳原形質膨活作用で、即進の組織 たなるものですが、これは、経報わかもと からいる子供に続く「鉄幅わからと」を の各種ビタミンや、燐、ゲ、カル 場正田来ません 多いので、単に売ったり蓋能機能から来て居る場合が これは先天的。後天的の概 しまずから、基非とも矯正 んで聞くすう 〇大連行(現在定期連絡)

聖させて見ますと、何でも

東第7 郡 東京では 東京で 一個 九 一個 九 一個 九 七月古日鐵南地五日釜山九日安丸 当日 鐵南班三日 仁川三日 四 九 日 鐵南班十日 仁川三日 緑仁川ョツ阪砂直真

弱い機質も異態に改造されるわけです

しなくてはなりませんが、

食偏の供子

-

○西 鮮航路 ○西 鮮航路 ○西 鮮航路 ○西 鮮航路 日朝鮮重品能出民

榮養學上からみた

流産早産の原因

たはその上に、四腸の働きを強め、気管治が網絡されて潜りますが、

野爪な成分も含まれて居りま

ヒスチデン等の残資促進の始ある ンウム等の無機祭養素、リデン・

産院 使ひ下さいます 王石鹼を



ACTOで晴れて愛難貸員となった

は込を受けた问题の戦闘初め会員

張めて來り 京城竹 金部から非常登録が下合する下外「健康具の活動とあいまって帰収域」(英雄などである。 野衛司(心に被女遣の献身的の努力は各財)的となってゐる、東保護は全種経を展集させて誤く(1)と思知ってゐる、美島職を中 光的た活動は、4

造の迅速化に成功してゐるが常に

めハリキル交換手たち

わたしも日本の銃後にと

様けてみんが、更に何多二階に

勇み参じたスターキー

*・清い生活に

換議達は全神経を異型させて取く「す」と説切つてゐる、美島職を中換器。美島ウノト懶(『ごはじめ安」それだけ会権闘の活動がおくれま

思数点的空間線循門放中の〇〇支 | に『君造の活動が一秒おくれると | これら銃後の女親士たちのやさ

い耳と手から硬する神技に近い電

率る七月事刻一周 (他び那種下にふさ) りめしが三つに謎 **南雪でに飛び断兵。随る郊間を取るす。** 重りの野難年間日京城・稲山 はしい金十五銭の 胴)片上に

富山電話 明和工一年九月十日

坤利號の豫審終結

を連伸したもので船長正木海ー

七月七日一京城、龍山面驛

電光的神技に賞讃の襲來

言報傳令の女戰士

でたてこめての進光の健康陣

よると遮光幕の彼方では20一て空神春飛修命のサイレンが安堵「時十分突加観観空襲撃が渡せら」時ころ本部へ引揚げたがミナがこ

人通りだ、厳重を極めた街店で一た整្線気取りの大ころは吹えよう

防空調練が三日・一日の京城は午

ともしない。たまなら収足者とメ

=京畿防空訓練演習第三日

解除まで見事に、空襲警戒を實行した施設を整備した結果は、同九時空襲警に約りてもwit一日間の準備訓練に於てそいから予定業時間を初める推定地區は1酸にして湯一 西江何れる野坂管郷下の緊張・同人時十分忠興野報が

いふところで

物足りなさよ

ら近地への動物にも何より好所。 以が一空腹鬱粒です。灯を消して 時局向の対慰安

吸ひ込まれて行った。この関チた らば飛行機上機らでも出て來いた 佐伯團長も 黒い街へ

建った雰囲気を暮んである聖茶

下版と空襲管機の展別が府民に彼 極火管制を完璧なものにしてるた れてるないため養殖管師の時一た、上海鏡は毎週月、水、金、脳间 管御中特に目立つものは贅茂 徹底してゐな 警報の區別 期航空戦便が開始されるととなっ 難に顕繁となった内地上海川に七 一日から日本空融合社の手で定 航空郵便開始日內地上海問日

大阪で『重役」送局 に及んである如くなつであるが 本金を三十為間に擴張して現在 いてあた事判明 にあるのであるが いてあた事判明



ばそのなる店舗を開いても良いか 市市西阿斯町岩田八四ノ一鈴木炭 本と中変との断機は大いに短縮さ 非常に見得されても名 れるわけでその成果は各方面がよ **数に振迦火、木、土の週三同便で目**

た府民遠はヶ自分達の家庭は自

五十隣の蘇納を中山た

著江明郎、宣傳、梅太、北海

使のは20mmでは、1.mm、 18mmの 19mmの 夏局では物養節的時代の國旗級に 小規模の三甲虫であるが、昨年五 幽ードを入れて人気を得してゐた歌。京越長等川前四五大家要若は日出 は廃止するとになったが、これであたところ。そのまと藩主が出す 「機関用領革だけに対入、其他 入りの器口を拾得本町器に届出て 前四十五分内地

大の声明情報を記録が、 本の声明情報を記録が、 ない、特別要にあかが続な知らせ下 第4次によった。 第5次によった。 第4次によった。 第4次によった。

能楽「かちどき」以上の所切にカ

感心な日出校兒童

煙草のカード膨止

のケップ大統領サカ目領与入端、たり、中国ごろからカードなしの「住の今野先生同学大和司の領領「カクトの意味」来消した出版。華原二萬五千殿の八十年人前定と「二の親ごつくり渡されたので、「

四流血中風に

人助けのため良薬敷日分

無代で差上げます

一千二百七十一ヶ所、田畑の後水一萬五千八百八十五月、田川の後水一萬一千八百八十五月、宋上波水二 型六十九戸、総本実属水下建水二 十種、半鹽二百四十七样、流失家 は脳下の水溶脱況は泉屋金増吉七 おける突峨郷保安課の調査によれ

が処理好きとな

野子即門門和

界日条次

の繪本

死者四十

逮押者時受けた傷の手者を受けて動物を受けて 捕はれた平山路山部西松面西村

(ベスマトラゴム会社) 製材所等 関係のない大コム工基及びジャ 用質は無資本の回意等此で全然

茨城縣下の被害

東道に

〈月上 領領 洛西高雄神殿寺の寺野 切無の一部が協難にかかつてる

上町某大學故學得川盛三牌主(**)

目下餘明取調八中

餘罪を自供

- 復名―を同暑に運行、京都地方

同等の参観に訪れた京都市田中野一二十五名を開取してゐたこと例明

数回にわたつて二十五卷

主張某氏の紹介版を持禁して | 歴は四寺から十数団に亘って編集さを整見、鬢城中のところ三 | 惣判所田逸機派が取調べた結果背

地帯に恐怖と戦闘の渦を抱き起し 【新冀州電話】 | 既報||平北沿岸

だと独らしたとのことである

驛辨も握り

随意 電電れた三番 入院 京城団崎町七

晋五五七一本础

· 鉴 侧 鐵 屋 神 佛 具 店

與御宮太鼓



亚甲尼二时鱼齿妓食



真のソース!

羽車ノース

一度使へば

は 事 大学 事 大学 があれずいの三者加越、八十五個、 でネニセニー番が でネニセニー番が

(建物七十种) 住宅市巷师问 市場介 京城第子株式會社



李昌臺什宅地縣灣 東高臺土地經營事務所 東高臺土地經營事務所 東高臺土地經營事務所

報信 1 万 日 別 部 2 3 五 四 数 信 間 1 万 日 別 部 2 3 五 四 数 信 用 数 株 式 會 社 密 報 2 3 五 密 と 3 五 の と 3

血色の悪い方に へいトーゼ
計

を思信にして語教の専作的様にしたもの質能的社法として昔から省名な肝臓療法

今に食性をするの問題を良くします。 おかくは水に極めてもよく或は

を へ、世間から見れば もの、世間から見れば もの、世間から見れば

大 猫 大他一般家畜倒婦 かに値す 優非町二ノ九六 が体本五二四四間 佐藤家畜倒婦 がなまっ、十一年大例傳統注射の需 がはいた。 がは、一般家畜授利の

選筆便、環境比頻なき 本学より大設備の連昌公開前、変

文章記書は自命則計供産来戦和 高女卒業程度は了ビスト勢名採用

けふの天氣

